

Sakura Citizen Collaboration Team News No.2

—市民協働推進チーム—

第3回市民協働推進チームミーティングを7月30日に開催しました。今回は特別養護老人ホームつきみの杜を訪問し、施設見学や座談会を行いました。

7月30日



施設・事業の紹介(つきみ食堂の様子)

施設を運営する社会福法人愛美会の家守さんから「つきみの里」、「つきみの杜」について説明いただきました。この2つの施設の大きな違いは、つきみの里は地域密着型であり、さくら市に住所がある方のみが入所できるということ。また、地域との交流も多く、季節ごとのイベントやつきみ食堂(こども食堂)なども実施しています。

つきみ食堂は令和元年4月からオープン。親が働いていて、1人でご飯を食べる子どもが多くいると聞いて、家庭で過ごすような温かい場所や食事を提供したいという思いから始まったそうです。多いときには100名近くの方が集まり売り切れになることも、

しかしながら、コロナの影響により、感染防止の観点から飲食をともにできない状態が続いています。後半の座談会ではつきみ食堂に代わってできることについて話し合いました。

施設見学

つきみの杜1階の調理室や居室、浴室(ホーミーース)等を見学しました。調理室は、調理する人と利用者のコミュニケーションを増やすために、一部ガラス張りにして中が見えるようにするなどの工夫がありました。また、浴室では座ったまま入浴できる機器を体験させていただきました。



座談会

「コロナ禍における子ども食堂の実施及び代替案について」というテーマでコロナ禍でもできる行事やイベントを中心に意見を出し合い、全体で共有しました。

つきみの里にある畑を活用した野菜作り体験や料理教室、緑日屋台・子ども神輿、昔遊び体験、ぼうじぼ作り、駄菓子屋体験、映画上映会、ニュースポーツ体験などの意見が出ました。

今回出た意見を基に、今後、市民協働推進チームでイベントを企画することも検討していきたいと思えます。



—next time—

次 回

8月27日(金)13時30分～
協働で様々な取組みを行っているセブンハンドレットクラブを訪問し、企業視察、意見交換を行います。

【問】総合政策課 市民活躍推進係